

e 通勤プロジェクトについて

1. e 通勤プロジェクトへの市職員の参加状況について

市では、10月1日から、e通勤プロジェクトの社会実験を行い、バス停が遠い、交代勤務や不定期勤務などの職員を除く563人が、公共交通機関や徒歩、自転車による通勤を行っている。公共交通機関での通勤は今年3月末では、12人であったが、現在246人となっている。

	通勤者数（10月1日現在）	構成比（%）
バス	143（うちパーク&ライト 17）	9.0
鉄道	96（うちパーク&ライト 45）	6.0
バス+鉄道	7	0.5
徒歩・自転車	317	20.0
小計	563	35.5
自動車・バイク	1,022	64.5
合計	1,585	

2. e 通勤プロジェクト推進による市財政等への影響について

10月1日現在のe通勤者実施者を対象として、今年の3月末時点との通勤手当を比較すると、試算では、年額約10,859千円（月額約905千円）の増額となるが、市が補助するバス交通維持費は、年8,016千円（月668千円）の減額なる。

また、交通事業者にとっては、収入及び利用者増となり、公共交通網全体の維持・活性化に寄与するものと考えている。

(1) e 通勤実施前との比較

通勤手当（市役所）年10,859千円増(月905千円増)] ⇨ 年2,843千円の負担増
バス交通維持費（市役所）年8,016千円減(月668千円減)	
運賃収入（交通事業者）	
(ア) バス...年28,644千円増(月2,387千円増)	
（補助対象路線：年19,964千円増 補助対象外路線：年8,680千円増）	
(イ) 鉄道...年7,152千円増(月596千円増)	

(2) 通勤手当額の比較

(単位:円)

手段	項目	職員数	構成比（%）	通勤手当		通勤手当の増減	
				H21.3月	H21.10月	月額	年額
バス		126	51.2	904,764	1,957,497	1,052,733	12,632,796
バス (パーク&ライト)		17					
鉄道		51	20.7	455,698	300,439	155,259	1,863,108
鉄道 (パーク&ライト)		45					
バス+鉄道		7	1.2	104,000	125,144	21,144	253,728
計		246		2,300,508	3,205,431	904,923	10,859,076

3. e 通勤プロジェクト推進による環境負荷低減の効果について

環境負荷低減効果については、次のとおりであり、「環境都市豊岡」の実現に向けて大きく貢献することになる。

抑制通勤距離	1,151,550km/年
・地球周回に換算して ^{注1}	28.7 周分/年
排出抑制 CO ₂	273,800 kg-CO ₂ /年
・25m プールに換算して ^{注2}	343 個分/年
・杉の木が吸収する量に換算して ^{注3}	19,577 本/年
・必要な植林面積を東京ドームに換算して ^{注4}	9.5 個分/年
燃料消費抑制量 ^{注5}	118,716 /年
・200 のドラム缶に換算して	594 本/年

注1) 地球一周：40,070km

注2) CO₂(0度、1気圧)1kg は 0.509 m³。25m × 6 コース、深さ 1.25m のプール

注3) 杉の木 1 本 (杉の木は 50 年杉で、高さが約 20 ~ 30m) あたりの CO₂ 吸収量：14 kg/本・年
(「地球温暖化防止のための緑の吸収源対策」環境省・林野庁)

注4) 東京ドームの面積 46,755 m² = 4.6755ha に、植林密度を 441 本/ha(5m 間隔で植林すると仮定)して試算。

注5) '06 ガソリン乗車用の平均燃費(実走行燃費)：9.7km/ (日本自動車工業会)
実走行燃費 = 実際の道路における全普及車輛の平均燃費

4. e 通勤プロジェクトに参加する事業所

次の事業所が、e 通勤プロジェクトの趣旨に賛同し、公共交通や徒歩・自転車による通勤を推進することを表明され、11月から、一部の事業所の従業員 21 人が、新たに公共交通および徒歩・自転車を利用した通勤を行っている。

- (1) 株式会社三井住友銀行豊岡支店
- (2) 株式会社但馬銀行
- (3) JA たじま
- (4) 但馬信用金庫
- (5) 関西電力株式会社豊岡営業所

〔問合せ〕都市整備部都市整備課 23 - 1712